

2026

5.23 SAT. - 9.6 SUN.

MAGOME ART GALLERY Highlights Collection of Ota City

日々を慈しむ、描く

「安西啓明の日本画を中心に」

【ご案内】

- 開館時間 9:00-16:30(16:00 最終入場)  
休館日 毎週月曜日(7月20日(月・祝)は開館、7月21日(火)を休館とする)  
入館料 無料  
アクセス ▶JR 京浜東北線 大森駅西口から  
東急バス4番「荏原町駅入口」行乗車、「万福寺前」下車  
徒歩5分  
▶都営地下鉄浅草線 西馬込駅南口から  
馬込桜並木通り(桜のプロムナード)に沿って徒歩10分  
▶駐輪場有り(5台)

Painting the Cherished Everyday

The Japanese painter: Keimei Anzai

[INFORMATION]

- ◆Opening Hours 9:00-16:30(Entrance Closed at 16:00)  
◆Closed Mondays(If Monday is a national holiday, the following day will be closed)  
◆Admission Free  
◆Location 4-10-4 Minamimagome, Ota-ku, Tokyo 143-0025  
◆Contact TEL 03-6410-7960 FAX 03-6410-796

[Access]

- From JR Keihin-Tohoku Line JR, Omori Sta. West Exit, take Tokyu Bus No.4 towards Ebara-machi Sta. Entrance, get off at at Manpukuji-mae.(5minutes on foot)
- Bicycle parking lot:5 spaces

公式HP



# 日々を慈しむ、描く

-安西啓明の日本画を中心に-

安西啓明(あんざい けいめい 1905-1999)は、川端龍子(1885-1966)が主宰する美術団体・青龍社に属し、創立から解散に至るまで長く活躍した日本画家です。本展では、彼の得意とする人物を描いた絵画を中心に展示します。

啓明が生涯の師となる龍子と出会ったのは、16歳のこと。やがて、彼は龍子の画室近くである池上本門寺(大田区)のそばに住居と画室を構えるようになります。その後、1933年(昭和8年)に結婚し家庭を築くようになった頃から、それまで静かな風景を描いていた啓明の絵に人物が登場するようになっていきます。啓明は、青龍社の社人推挙の際、師である川端龍子から「人物稚気満々、画事又偽り無し、依って又子供を描けば成功するという作者」と評されています。啓明が画題とした人物の多くは、彼の傍らで日々を暮らす妻や子ども達でした。1930年代から1950年代まで、家族の成長を見守るかのような絵をいくつも残しています。

この展覧会では、戦時下の自宅の庭に伸びやかに茂る緑と野菜、そこで戯れる子ども達の健やかな姿を描いた秀作《家庭菜園》(1944年)をはじめ、身近な人々にやさしい眼差しを向ける安西啓明の絵画を展示し、その魅力に注目していきます。

その他、2つの小展示もご紹介します。展示室3では、令和7年度新規修復作品である佐伯米子《ある日の記憶》(制作年不詳)や元永定正《あかいまるはまんなかに》(制作年不詳)など、展示室4では、地域にゆかりの画家である仲田好江(なかだ よしえ 1902-1995)の油彩画と淡彩画をご覧ください。

この展覧会をとおして、大田区が所蔵する絵画の魅力に触れていただけましたら幸いです。

## 【ギャラリートーク】

担当学芸員による展示解説を行います。

日程:2026年6月21日(日)・7月18日(土)・8月23日(日)

いずれも14:15から 約40分

〇6月28日(日)まで

「熊谷恒子の世界 第Ⅰ期『いろは帖』」

かな書家・熊谷恒子の愛用品や「いろは歌」の原稿を展示。

〇7月11日(土) - 11月29日(日) 予定(変更の可能性があります。)

「熊谷恒子の世界 第Ⅱ期『未定』」

## アクセス ▶ JR 京浜東北線 大森駅西口から

東急バス 4番「荏原町駅入口」行乗車、「万福寺前」下車  
徒歩 5分

## ▶ 都営地下鉄浅草線 西馬込駅南口から

馬込桜並木通り(桜のプロムナード)に沿って徒歩 10分

## 大田区立馬込アートギャラリー

〒143-0025 東京都大田区南馬込 4丁目10番4号  
TEL 03-6410-7960

2026

5.23 SAT. - 9.6 SUN.



安西啓明《緑側》1937年



安西啓明《家庭菜園》1944年



佐伯米子《ある日の記憶》制作年不詳



元永定正《あかいまるはまんなかに》制作年不詳

